

コップの中の嵐

民主党の代表選挙で菅か小沢か。・・・どっちでもいいというか、
どうでもいいというか。

他国は、一刻を惜しんで国防（かどうかはともかく、少なくとも）
軍備の拡張や冷え込んでしまった経済対策に専念しているとき、日
本ではどちらが主導権を握るか争っている。無駄な時間と労力を使
って、というなら代表になれば即日本国の首相である。名誉と権力
とがあれば資金はいくらでも集まってくるだろう。もう思うがまま
の豪華な生活が可能になる。そら、命懸けで頑張るだろう。

急激な円高で日本経済がアップアップしているとき、無能を絵に
画いたような日銀総裁は何もしないし、首相に働きかけた形跡もな
い。首相は、自分がいつまでその立場にいることができるかに気を
とられて、経済対策なんか、ほったらかし。「慎重に推移をみまもっ
ています。」・・・アホ！ 何かできることのできる立場にいる者が
何もしないのは、不作為の罪である。それなら何もできない国民と
同じじゃないか！・・・案の定、遅れ馳せながら為替介入をしたけ
れどもタイミングを失っているから、為替レートはピクリとも動か
なかった。

常に小生が言っていることは、10年20年先を読もうとしない政治屋はいる。まともな宰相待望論である。

普段苦虫をかみつぶしたような顔をして愛想のひとつも言わないような仏頂面の強面が、へらへらニコニコしたところで、「何か含むところがあるのだろうか？」と思わない者もいないだろう。カネの問題も解決されていないし、参議院選挙では、ある意味この男の推し進めてきた方針が国民にソッポを向かれたなどとは考えもしないのだろうか。それを幹事長の責任などと問題をすり替えて・・・また間に入った鳩が、自分の影響力を残そうとしてか、あっちへウロウロこっちへウロウロ、今ひとつ腰が定まらない。そもそも首相を辞めるときの台詞は、「旧首相がいろいろ口をはさむのはよくない。」などといったような言葉を残して辞めたはずである。その舌の根も乾かぬうちにまたまたしゃしゃり出てくる。・・・冗談ではなく、「呆け」がきているのではないか？ 鶏頭と誹られても仕方がないのではないか。・・・一体に腰巾着やらあわよくばおこぼれに預かろうとしている連中がうるさくて仕方がない。高邁な政治理念など考えたこともないのだろう。

2010.08.28.